

授業科目(ナンバリング)	国際観光論(CA212) (実践的教育科目)			担当教員	※板垣 朝之 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
観光行動は人々の生活に非日常の「楽しさ」や「豊かさ」を与えるものであり、非日常性体験の典型が異文化との接触であるとすれば、それを積極的に理解する態度能力が求められる。この授業では異文化・自国文化理解をキーワードに、観光という切り口から国際的な文化の在り方を学び、それらとの接触から得られる「楽しさ」、「豊かさ」を共有し、自国文化への再理解を深化させることを目標とする。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	異なるものを認め、「異文化」を理解する事で得られる喜びを、観光の切り口から提示・説明できる知識の取得と、その活用を実践することが出来る				・期末課題 ・小レポート ・授業参画度	20% 10% 5%	
情報収集、分析力	文化の違いで生じる摩擦や興味の異なりを予測分析するだけの情報を収集出来る				・期末課題 ・小レポート	10% 10%	
コミュニケーション力	文化の違いを共有・理解するために、自身とその社会が持つ文化に関してその特徴を説明することが出来る				・小レポート ・授業参画度	10% 5%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	文化の多様性をふまえた観光展開案を提示することが出来る				・期末課題 ・小レポート	20% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
毎週の授業後レスポンスに授業へのコメント等を記入・提出し、全15週の内2回分を小レポートとして全体の40%評価とする。期末課題はこの授業の内容を踏まえた自身の考えをまとめる目的で実施し50%評価とする。世界の色々な動きや海外ニュース等に常に興味、関心を持って授業に臨む事を参画度として10%評価し、これらを総合的に評価する。課題レポートのフィードバックは適宜ポートフォリオや授業時に行う。							
授業の概要							
授業はビジュアル資料等を使用し、交錯する文化の諸相、宗教、言語、民族、政治、経済といった諸要素が、歴史的にまた現代世界にどの様に存在し、どの様に進行しているのかを概観し、観光という手段を通じてその様な諸相をどのように理解してゆくのか、また異なる文化の諸相をどの様に自分事として捉え理解できるようにするのかという課題を確認しつつ進行する。従って授業の多くの部分で異文化の「形式・様式」への理解を深める事を通じ、自文化への理解を深める事を目標とする。また担当教員の旅行業での経験等に基づく知見等も利用して、広範な諸元を総合的に理解、判断できる知識の習得を目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書・指定図書：「新・観光立国論」デービット・アトキンソン著/東洋経済新聞社刊							
授業外における学修及び学生に期待すること							
現代社会は「不確実性の時代」とされており、紛争が続く諸国間の関係を見ても第二次世界大戦後に構築された国際関係のレジームは大きな変革を求められている。この様な環境下、我々が個人として不確実性の時代をどの様に生きてゆくのかは大きな課題である。授業を通じ、観光という身近な切り口から時代の舞台上の動きを理解し、個人としてその動きにどの様に対処して行けるのかのヒントを掴むという大きな目標に共感できることを期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	観光とは何か、国際観光の役割を再考する	授業全体のガイダンスと「観光」の持つ意味について改めて考察する。	予：「観光」の意味について確認しておく 復：「観光」の意味を復習
2	「文化」とは何か①	「文化」と呼ばれる事柄には具体的にどのようなものがあるのか、文字・言語について考察する。	予：「文化」について考える 復：「文化」の諸相の復習
3	「文化」とは何か② 宗教とは何か①	「世界宗教とは何か」①、世界にはどのような宗教があるのかを再確認する。	予：「宗教」と何かについて考える 復：「世界宗教」の復習
4	「文化」とは何か③ 宗教とは何か②	「世界宗教とは何か」②、信者数世界最多であるキリスト教の文化を考察する。	予：キリスト教とはどのような宗教かを考えておく 復：キリスト教文化の復習
5	「文化」とは何か④ 宗教とは何か③	「世界宗教とは何か」③、イスラム教・仏教の文化を考察する。	予：イスラム教・仏教とはどのような宗教かを考えておく 復：イスラム・仏教文化の復習
6	「文化」とは何か⑤ 建築様式から学ぶ	文化の形式としての「古代建築様式」から文化の変遷を考察する。	予：古代建築にはどのようなものがあるかを考える 復：建築様式の復習
7	「文化」とは何か⑥ 彫刻・宗教絵画を学ぶ	文化の一形式として「彫刻」・「宗教絵画」の歴史と変遷を考察する。	予：彫刻・宗教絵画に関し知っている事をまとめる 復：彫刻・宗教絵画の復習
8	「文化」とは何か⑦ 絵画の歴史を学ぶ	文化の形式の変遷の具体例として「西洋絵画」から文化の変遷を考察する。	予：西洋絵画の歴史的变化に関して知っていることをまとめる 復：西洋絵画の歴史確認
9	「文化」とは何か⑧ 文化の一形態としての「食文化」を学ぶ①	文化の形式としての各国の「食文化」を考察する。	予：世界の食文化に関し知っていることを確認する 復：文化としての食の復習
10	「文化」とは何か⑨ 文化の一形態としての「食文化」を学ぶ②	世界各国の「食文化」と「和食」の文化を考察する。	予：和食に関し知っていることを確認する 復：文化、観光資源としての和食の復習
11	日本の国際観光戦略の歴史	インバウンド/アウトバウンド双方の観光戦略をどのように描き、辿ってきたのかを考察する。	予：アウト/インの観光の動きに関し考えておく 復：アウト/インの動きの経済的意義の復習
12	戦前日本の国際観光戦略と第一次世界大戦後の世界の動き	明治以降の日本の国際観光戦略の動きと第一次世界大戦後の世界の動きを考察する。	予：明治時代に関し知っていることを確認する 復：第一次世界大戦の意味の再確認
13	戦後日本の国際観光戦略の動き、海外旅行の展開	戦後日本の復興と冷戦下の世界の動き、その後の海外旅行発展の動きを考察する。	予：戦後世界の動き、冷戦に関し知っていることの確認 復：海外旅行展開の意義の最確認
14	海外旅行とインバウンド、経済政策としての国際観光	発展する世界経済と海外旅行の大衆化、インバウンドとの相関、コロナ禍による国際観光への影響について考察する。	予：コロナ禍前の国際観光の在り方を確認する 復：コロナ禍後の国際観光戦略の復習
15	全体のまとめ、国際観光が果たす役割の再確認	ポストコロナの国際観光の在り方、世界経済を舞台とした国際観光の役割の考察、授業全体のまとめ。	予：国際観光の世界的な役割を考えておく 復：国際観光の今後に関する自身の考えをまとめる